

東広島市立図書館分類別選定要綱 一般書

0 総記

- (1) 情報科学は、各種ソフトウェアの各バージョン等を扱った資料を、利用頻度を考慮した上で、幅広く収集する。操作マニュアルも収集する。最新の情報を提供できるよう、資料の更新に留意する。
- (2) 図書館学・書誌学・読書指導・著作権は、積極的に収集する。
- (3) 百科事典・年鑑は、定評のあるものを各種収集する。改訂等に留意し、更新に努める。
- (4) 新聞縮刷版を収集する。

1 哲学・宗教

- (1) 哲学・心理学は、基本的な資料を体系的に収集する。
- (2) 心霊研究は、基本的には収集しない。客観的な根拠が不明確な分野のため、より正確な情報の資料を選ぶことや、多種多様な類書のバランスをとることが困難であることから、個々の主張については収集しない。ただし、科学的・客観的な研究書等の中立的な立場で書かれた資料は収集する。
- (3) 占い・姓名判断は、積極的に収集しない。
- (4) 人生訓関係の資料は、類似内容の資料ばかりにならないよう、留意して収集する。
- (5) 宗教学は、宗教、宗派によって差別せず、中立的な立場を守り、偏ることなく収集する。特定の宗教法人の布教目的の資料は、原則として収集しない。

2 歴史・伝記・地理

- (1) 歴史は、各地域・各時代にわたって、さまざまな観点のものを、入門書から専門書まで、利用に応じて幅広く収集する。
- (2) 伝記は、日本人・外国人とも、各時代の代表的な人物を中心に、幅広く収集する。
- (3) 地理・地誌は、基本的なものを幅広く収集する。旅行案内等は適宜更新し、情報が正確なものを収集する。5年以上更新されていない地域は、積極的に新版を収集する。利用頻度が高い場合は、5年未満でも更新する。

3 社会科学

- (1) 社会・文化事情・社会評論で、今日的主題を扱った資料は、多様な観点のものを幅広く収集する。
- (2) 法律・税・年金は、実用書を含め、法改正・制度改正に伴って最新のものを収集する。
- (3) 人権問題は、積極的に幅広く収集する。

- (4) 教育は、教科研究など専門的なものは原則として収集しない。
- (5) 国防・軍事は、多様な観点に立って収集する。

4 自然科学

- (1) 最新かつ正確な資料を収集する。
- (2) 自然科学は、入門書・概説書・基礎的な理論書を中心に収集する。
- (3) 医学・薬学は、細分化・専門化された専門書は原則として収集しない。健康法については、記述の科学的な信頼性を考慮して収集する。

5 技術

- (1) 各分野にわたって、幅広く収集する。
- (2) 科学技術分野は、常に最新の情報を提供できるように留意して収集する。
- (3) 住宅・インテリア・生活科学・家政学は、趣味・実用に役立つ資料を、特定の分野に偏ることなく収集する。

6 産業

- (1) 各分野にわたって、幅広く収集する。
- (2) 新しい動向について分かりやすく書かれた資料は、積極的に収集する。
- (3) 趣味や実用に役立つ資料は、特定の分野に偏ることなく収集する。
- (4) ビジネス支援の観点を持って収集する。

7 芸術・スポーツ

- (1) 各分野の資料を鑑賞と製作、実技にわたって、特定の分野に偏ることなく収集する。
- (2) 一枚物の楽譜は収集しない。楽譜集は、厳選して収集する。
- (3) タレント写真集は、原則として収集しない。
- (4) まんが本（コミックス）は次のとおり収集する。
 - ア 各種学習用・一般書の絵解き本に類するもの。
 - イ 平和・人権・同和問題等に関するもの。
 - ウ 地域資料（内容が酒に関するもの、郷土作家の作品等）
 - エ 特に必要と認められるもの。（評価の高いもの等）
 - オ 完結していないまんがについては、ア～エを考慮して慎重に収集する。

8 語学

- (1) 主要参考図書の改訂版は、原則として収集する。
- (2) 日本語辞典は、各主題について多様な資料を幅広く収集する。
- (3) 外国語辞典は、各国語対和訳を中心に、主要言語の辞典を幅広く収集する。

(4) 語学書は、日本語及び主要な言語を収集する。その他の各種言語も必要に応じて収集する。

(5) 手紙・挨拶・スピーチは、実用性の高いものを収集する。

9 文学

(1) 文学作品・評論・作品研究・作家研究は、幅広い分野の基本図書を収集する。

(2) 古典・ロングセラーは、幅広く収集する。

(3) 文学賞受賞作品は、広島及び主要な国内外の文学賞を中心に、必要に応じて揃える。

(4) 外国文学は、各国文学を幅広く収集する。

附則 この要綱は、平成27年11月6日から施行する。